

令和 7 年度

富山市ガラス美術館
協議会

資 料

令和 7 年 8 月

令和7年度 富山市ガラス美術館協議会

資料目次

資料1 富山市ガラス美術館協議会概要等

資料1-1	富山市ガラス美術館協議会の概要について……………	P 2
資料1-2	富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて……………	P 4
資料1-3	富山市ガラス美術館企画展について……………	P 7
資料1-4	富山市ガラス美術館基本方針……………	P 11

資料2 令和6年度富山市ガラス美術館事業実績等……………議事（1）

資料2-1	令和6年度富山市ガラス美術館の当初予算額及び決算額について……………	P 13
資料2-2	令和6年度富山市ガラス美術館の主要事業について……………	P 14
資料2-3	令和6年度TOYAMAキラリ入館者数及び富山市ガラス美術館 観覧者数について……………	P 33
資料2-4	令和6年度富山市ガラス美術館5階ギャラリー使用実績について…	P 36
資料2-5	令和6年度公益施設内関連イベント実施状況について……………	P 37
資料2-6	来館者アンケート集計結果……………	P 39

資料3 令和7年度富山市ガラス美術館事業計画等……………議事（2）

資料3-1	令和7年度富山市ガラス美術館事業一覧について……………	P 45
資料3-2	令和7年度富山市ガラス美術館展覧会開催スケジュールについて…	P 46

参考資料

参考資料-1	ミュージアムショップ（2階）のオリジナル商品について……………	P 48
参考資料-2	カフェ（2階）メニューについて……………	P 50

富山市ガラス美術館協議会 概要等

富山市ガラス美術館協議会の概要について

1 関係法令及び条例、規則※

- ・博物館法（昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号）第 23 条～第 25 条
 - ・富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）第 12 条
 - ・富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）第 10 条、第 11 条
- ※条文は、次頁。

2 目的

富山市ガラス美術館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるための機関。

3 任命

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

4 定数

定数 10 人以内

5 任期

任期 2 年

6 委員名簿 任期 令和 6 年 6 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日まで （五十音順）

	氏 名	推薦団体等	役職名
1	秋元 雄史	学識経験者（現代美術）	金沢 21 世紀美術館特任館長
2	池淵 晃	学校教育関係	富山市小学校長会長
3	石崎 由則	本市の美術の振興に資する活動を行う者	株式会社アイザック 代表取締役会長兼 CEO
4	石田 敬真	本市の美術の振興に資する活動を行う者	富山市美術作家連合会長
5	唐澤 昌宏	学識経験者（近・現代工芸史）	国立工芸館長
6	竹脇 孝志	学校教育関係	富山市中学校長会長
7	外館 和子	学識経験者（工芸史）	多摩美術大学教授
8	浪瀬 佳子	公募委員	

◎博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）

（博物館協議会）

第 23 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 24 条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第 25 条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

◎富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）

（協議会）

第 12 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条の規定に基づき、富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

◎富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）

（協議会）

第 10 条 条例第 12 条第 1 項に規定する富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第 11 条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて

(1) ガラス美術館開館まで

年月	事項
昭和 56 年 12 月	富山市高等教育機関研究委員会から、富山市における高等教育機関の整備について答申があり、高等教育機関として専門学校設置の提言を受ける
昭和 58 年度	答申の趣旨を踏まえ、富山市として「新しい時代の高等教育を求めて」を策定 (1) 国際教養学科 英語コース ⇒ 外国語専門学校 (2) 家庭生産学科 ガラス工芸コース ⇒ ガラス造形研究所
昭和 60 年 4 月	富山市民大学ガラス工芸コース開設
昭和 63 年 3 月	富山中央部丘の夢構想調査報告書に呉羽丘陵を中心に新たなリクレーション空間を創出する案のひとつとして、初めて「ガラスの里」のイメージが語られる
昭和 63 年 9 月	富山ガラス工芸教育機関設置委員会を開催
平成 2 年 7 月	富山ガラス造形研究所校舎着工
平成 3 年 4 月	富山ガラス造形研究所が開校
平成 3 年 6 月	富山ガラス造形研究所開校記念式（本館完成 1,734.40m ² ）
平成 5 年 5 月	富山ガラス造形研究所研究科棟完成（568.86m ² ）
平成 6 年 4 月	富山ガラス工房が開設
平成 8 年 10 月	「ガラスの街づくり事業」スタート、ミニケースギャラリー設置
平成 8 年 11 月	富山ガラス個人工房建設着工（平成 9 年 4 月開設）
平成 9 年 7 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 3 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会から「ガラスの里」基本構想の策定報告を受ける
平成 10 年 4 月	富山ガラス造形研究所の研究科を 1 年制から 2 年制とする
平成 10 年 9 月	「ガラス美術館」の基本方針や性格を審議するため、「ガラス美術館」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 12 月	「ガラス美術館」の収蔵品の選定・評価のため「ガラス美術館」収蔵作品選定委員会を設置

平成 20 年 8 月	「第 3 回 現代ガラス大賞展・富山 2008」を富山市民プラザで開催
平成 21 年 3 月	今後のガラスの里の整備方針やガラス美術館の方向性を盛り込んだ「富山市ガラスの街づくりプラン」を策定
平成 21 年 4 月	富山ガラス造形研究所が県教育委員会から専門学校の認可を受ける
平成 22 年 1 月	森富山市長が旧大和跡地でのガラス美術館を整備する計画を表明
平成 22 年 3 月	「ガラスの里」宿舎棟及びアーティスト・イン・レジデンスを富山市西金屋地内に設置（同年 4 月より供用開始）
平成 22 年 11 月	「西町南地区の公益施設整備に関する基本構想」を策定し、ガラス美術館の役割や整備に向けての基本方針を打ち出す
平成 23 年 4 月	「ガラスの里」宿舎棟を増築、供用開始
平成 23 年 8 月	「第 4 回 現代ガラス大賞展・富山 2011」を富山市民プラザで開催
平成 24 年 1 月	「ガラスの里」にかわる新名称を公募により「グラス・アート・ヒルズ富山」に決定
平成 24 年 9 月	「グラス・アート・ヒルズ富山」において、市民や観光客のガラス制作体験に特化した富山ガラス工房第 2 工房を開設
平成 25 年 1 月	ガラス美術館設置準備室設置
平成 25 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業起工
平成 26 年 8 月	再開発ビルの愛称が「TOYAMA キラリ」に決定
平成 27 年 4 月	富山市行政組織規則（平成 17 年規則第 3 号）に基づき「ガラス美術館」設置
平成 27 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業竣工
平成 27 年 6 月	グラス・アート・ガーデン作品の一部をチーフリ・スタジオとガラス造形研究所・ガラス工房のスタッフとが共同制作
平成 27 年 8 月	富山市ガラス美術館開館

平成 11 年 8 月	富山国際会議場のオープンに併せ、1 階にガラス工芸品を販売するアートサロンを設置、同階の交流ギャラリーの一角に市所蔵のガラス作品を展示
平成 12 年 3 月	富山ガラス造形研究所増築工事 (特別制作室、作品収蔵庫/421.48m ²)
平成 13 年 3 月	「ガラス美術館」基本構想策定委員会が基本構想をまとめる
平成 14 年 3 月	富山ガラス工房拡充整備計画を策定
平成 14 年 8 月	「第 1 回現代ガラス大賞展・富山 2002」を富山市民プラザで開催
平成 14 年 11 月	富山ガラス造形研究所顧問である藤田喬平氏が文化勲章を受章。これを記念して、「藤田喬平のガラス芸術」展を富山国際会議場で開催
平成 14 年 11 月	ガラス美術館建設延期に伴い、街全体を美術館に見立てた新たな展開方針を検討。中心市街地を含めたストリートエリアへの作品展示に着手
平成 16 年 8 月	「ガラスの街とやま」シンボルマークを正式発表
平成 16 年 10 月	レンタル機能を新たに盛り込んだ富山ガラス工房の増築棟完成
平成 17 年 3 月	富山市民プラザ 2 階に市所蔵のガラス作品を展示するガラスアートギャラリーを開設
平成 17 年 3 月	ガラス美術館・ストリートエリア構想事業の一環として、屋外型ショーケースを大手モールに設置
平成 17 年 8 月	「第 2 回現代ガラス大賞展・富山 2005」、愛知万博関連事業「光と空間の捕捉ーチェコ現代ガラス展」を富山市民プラザで同時開催
平成 19 年 9 月	「TOYAMA GLASS×ONE 2007」展を富山市民プラザで開催
平成 20 年 2 月	有識者による「(仮称)ガラス美術館」懇談会を開催(計 2 回)。ガラス美術館の建設地について、中心市街地での整備が望ましいという提言を受ける
平成 20 年 3 月	森富山市長が 3 月議会でガラス美術館を中心市街地で整備する意向を表明
平成 20 年 4 月	それまで複数の部局で実施していたガラス事業を富山市企画管理部に一元化

(2) 富山市ガラス美術館企画展について

	会期	展覧会名
平成 27 年 度	平成 27 年 8 月 22 日 (土) ～平成 27 年 11 月 8 日 (日) (開場 68 日)	アイ・ガット・グラス！アイ・ガット・ライフ！ 情熱の現代ガラス芸術 【観覧者数：41,442 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 1 月 31 日 (日) (開場 57 日)	藤田喬平の芸術－「現代」としての伝統 【観覧者数：10,370 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 3 月 21 日 (月・祝) (開場 100 日)	ハワード・ベン・トレ：Casting of Being－存在の痕跡 【観覧者数：18,630 人】
平成 28 年 度	平成 28 年 4 月 16 日 (土) ～平成 28 年 7 月 3 日 (日) (開場 74 日)	feeling in glass－感じとるかたち－ 【観覧者数：17,836 人】
	平成 28 年 7 月 16 日 (土) ～平成 28 年 9 月 25 日 (日) (開場 67 日)	イワタルリ BODY×硝子 【観覧者数：20,108 人】
		ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット：Light Marks－光を辿（たど）る 【観覧者数：20,206 人】
	平成 28 年 10 月 15 日 (土) ～平成 29 年 2 月 5 日 (日) (開場 100 日)	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 【観覧者数：14,355 人】
	平成 29 年 2 月 18 日 (土) ～平成 29 年 3 月 26 日 (日) (開場 35 日)	「うごき」と「へんか」の視点・富山市ガラスコレクション展 【観覧者数：8,958 人】
平成 29 年 度	平成 29 年 4 月 15 日 (土) ～平成 29 年 7 月 9 日 (日) (開場 80 日)	雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展 【観覧者数：20,864 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	アン・ヴォルフ アンダンテ 【観覧者数：25,693 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	家住利男 削りの形 【観覧者数：25,803 人】
	平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) ～平成 30 年 2 月 4 日 (日) (開場 64 日)	とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現 【観覧者数：9,613 人】

平成 29 年度	平成 30 年 2 月 17 日（土） ～平成 30 年 3 月 25 日（日） （開場 34 日）	北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形 【観覧者数：8,259 人】
平成 30 年度	平成 30 年 4 月 7 日（土） ～平成 30 年 6 月 17 日（日） （開場 69 日）	ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間（とき） 【観覧者数：17,317 人】
	平成 30 年 4 月 28 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 121 日）	扇田克也-光のカタチ 【観覧者数：37,360 人】
	平成 30 年 7 月 7 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 56 日）	アレナ・マチェイカ 神秘的な世界への旅 【観覧者数：19,539 人】
	平成 30 年 9 月 15 日（土） ～平成 30 年 11 月 25 日（日） （開場 68 日）	富山ガラス大賞展 2018 【観覧者数：20,598 人】
	平成 30 年 12 月 8 日（土） ～平成 31 年 2 月 24 日（日） （開場 76 日）	ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～ 【観覧者数：225,435 人】
令和 元 年度	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック-モダン・パリのエレガンス- 【観覧者数：58,838 人】
	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	MART A K L O N O W S K A Istota マルタ・クロノフスカ 不思議ないきもの 【観覧者数：59,715 人】
	令和元年 10 月 12 日（土） ～令和 2 年 2 月 9 日（日） （開場 112 日）	リノ・タリアピエトラ ライフ・イン・グラス 【観覧者数：23,711 人】
	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和元年度中開場 30 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和元年度中 観覧者数：4,444 人】
令和 2 年度	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和 2 年度中開場 129 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和 2 年度中 観覧者数：15,602 人】 【期間計 観覧者数：20,046 人】
	令和 2 年 4 月 25 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （開場 117 日）	イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの 【観覧者数：15,000 人】
	令和 2 年 10 月 10 日（土） ～令和 2 年 11 月 23 日（月） （開場 43 日）	木梨憲武展 Timing -瞬間の光り- 【観覧者数：48,735 人】
	令和 2 年 12 月 12 日（土） ～令和 3 年 3 月 14 日（日） （開場 83 日）	インタラクション：響きあうころ 【観覧者数：10,823 人】

令和2年度	令和3年3月6日（土） ～令和3年6月22日（火） （令和2年度中開場日25日）	高橋禎彦 playtime 【令和2年度中 観覧者数：4,307人】
令和3年度	令和3年3月6日（土） ～令和3年6月22日（火） （令和3年度中開場日77日）	高橋禎彦 playtime 【令和3年度中 観覧者数：8,438人】 【期間計 観覧者数：12,745人】
	令和3年4月10日（土） ～令和3年6月22日（火） （開場日69日）	サントリー美術館特別協力 ガラスに挑むー素材へのまなざし 【観覧者数：9,482人】
	令和3年7月10日（土） ～令和3年10月3日（日） （開場日57日）	富山ガラス大賞展2021 【観覧者数：14,312人】
	令和3年10月23日（土） ～令和4年1月23日（日） （開場日83日）	富山ガラス造形研究所創立30周年記念展 未来へのかたち 【観覧者数：17,543人】
	令和4年3月12日（土） ～令和4年6月26日（日） （令和3年度中開場日19日）	カースティ・レイ：静けさの地平 【観覧者数：3,902人】
令和4年度	令和4年3月12日（土） ～令和4年6月26日（日） （令和4年度中開場日81日）	カースティ・レイ：静けさの地平 【令和4年度中 観覧者数：18,403人】 【期間計 観覧者数：22,305人】
	令和4年7月16日（土） ～令和4年10月16日（日） （開場日87日）	コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now 【観覧者数：28,104人】
	令和4年11月3日（木・祝） ～令和5年1月29日（日） （開場日79日）	フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン 同時開催：ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展ー食べること、共に生きることー 【観覧者数：24,628人】
	令和5年2月11日（土・祝） ～令和5年2月19日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展 「TOYAMA GLASS×（バイ）…」 【観覧者数：2,476人】
	令和5年3月4日（土） ～令和5年6月18日（日） （令和4年度中開場日27日）	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和4年度中 観覧者数：10,140人】

令和5年度	令和5年3月4日（土） ～令和5年6月18日（日） （令和4年度中開場日73日）	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和5年度中 観覧者数：27,797人】 【期間計 観覧者数：37,937人】
	令和5年7月8日（土） ～令和5年10月9日（月・祝） （開場日88日）	日本近現代ガラスの源流 【観覧者数：33,757人】
	令和5年11月3日（金・祝） ～令和6年1月28日（日） （開場日66日）	宮永愛子 ^{うた} 詩を包む 【観覧者数：15,301人】
	令和6年2月10日（土） ～令和6年2月18日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展 「ガラスと生きる」富山ガラス工房と所属作家 【観覧者数：2,839人】
	令和6年3月9日（土） ～令和6年6月23日（日） （令和5年度中開場日22日）	回顧展：大太平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 【令和5年度中 観覧者数：7,455人】
令和6年度	令和6年3月9日（土） ～6月23日（日） （令和6年度中開場日78日） （開場日100日）	回顧展：大太平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 【令和5年度中 観覧者数：7,455人】 【令和6年度中 観覧者数：25,935人】 【期間計 観覧者数：33,390人】
	令和6年7月13日（土） ～10月14日（月・祝） （開場日88日）	富山ガラス大賞展2024 【観覧者数：51,098人】
	令和6年11月2日（土） ～令和7年1月26日（日） （開場日76日）	没後120年 エミール・ガレ：憧憬のパリ 【観覧者数：27,894人】
	令和7年2月8日（土） ～2月16日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展・富山ガラス工房開設30周年記念 まなざしとリズム-富山ガラス造形研究所 教員10人の表現 【観覧者数：4,940人】
	令和7年3月8日（土） ～6月22日（日） （令和6年度中開場日23日）	富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering-つなぐ創造力 【令和6年度中 観覧者数：14,692人】

富山市ガラス美術館

基本方針

- 1 現代のガラス作品を中心に収集し、後世に伝えます。
- 2 ガラスを軸とした現代の多様な芸術表現を紹介し、人々に芸術との出会いの場を提供します。また、富山ゆかりのガラス作家の作品も紹介します。
- 3 収蔵作品や現代美術に関連した調査研究を実施し、その成果を社会に還元します。
- 4 芸術を通して、豊かな感性や知的好奇心を育みます。また、本市のガラスの街づくりにも寄与します。
- 5 併設する図書館と連携し、「透き通る」をテーマに、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、まちなかの賑わいのある、魅力的な美術館を目指します。

令和 6 年度

富山市ガラス美術館
事業実績等

令和 6 年度 富山市ガラス美術館の予算額及び決算額について

No.	事業名	当 初 予算額	決算額	主な事業の概要（数値は決算額）	5 年度 決算額
1	管理運営事務費	410,248 千円	402,940 千円	ガラス美術館の維持管理等を行うもの。 【内訳】 ・職員人件費 131,931 千円 ・委託料（総合案内受付、監視員業務委託等） 153,460 千円 ・光熱水費 49,912 千円 ・負担金（複合施設維持管理関係等） 42,498 千円 ・その他施設管理経費（消耗品費、借上料等） 25,139 千円	363,775 千円
2	作品収集保存事業費	18,871 千円	14,052 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 6,002 千円 ・委託料（文化財虫菌害・保存環境調査業務委託等） 7,377 千円 ・その他収集審査等にかかる経費 674 千円	16,587 千円
3	調査研究事業費	3,198 千円	2,335 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行うもの。 【内訳】 ・旅費 1,743 千円 ・負担金（I C O M 会費、日本ガラス工芸会会費等） 273 千円 ・消耗品費、備品購入費（美術関係雑誌等購入） 168 千円 ・その他調査研究通訳手数料等 151 千円	1,517 千円
4	展覧会開催事業費	120,000 千円	117,709 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行うもの。 【内訳】 ・委託料及び負担金 ①回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 13,742 千円 ②没後 120 年 エミール・ガレ：憧憬のパリ 37,214 千円 ③ガラスの街とやま連携展「まなざしとリズム-富山ガラス造形研究所 教員 10 人の表現」 3,000 千円 ④富山ガラス工房開設 30 周年記念展 Gathering-つなぐ創造力 24,682 千円 ⑤常設展 21,314 千円 ・郵便料、役務費、消耗品費、次年度展覧会準備など 17,757 千円 ※免震台購入費用（24,750 千円）を除く 【参考】観覧者数 288,139 人 うち有料入館者数 238,388 人、観覧料：130,487 千円	127,698 千円
5	富山ガラス大賞展開催事業費	46,000 千円	41,323 千円	「富山ガラス大賞展 2 0 2 4」二次審査及び展覧会を開催するもの。 【内訳】 ・委託料（実行委員会への委託） 41,323 千円	13,000 千円
6	教育普及事業費	4,647 千円	3,919 千円	富山市及び連携中枢都市圏の関係市町村（滑川市、上市町、立山町、舟橋村）の小学 4 年の児童を「TOYAMA キラリ（美術館、図書館本館）」へ招待する学校招待プログラムを行うもの。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム作品鑑賞補助等業務委託等） 3,783 千円 ・その他事務費 136 千円	3,932 千円
7	広報活動事業費	15,718 千円	15,806 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等の広報活動を行うもの。 【内訳】 ・委託料（広告制作費・掲載費、ウェブサイト保守、広報印刷物製作費） 9,740 千円 ・広告料等（るぶ・まっぷる等） 3,804 千円 ・印刷製本費（館内パンフレット等） 2,003 千円 ・その他通信運搬費等 259 千円	15,867 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	3 千円	5 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金に運用益等の積み立てを行うもの。 ・基金運用益積立金（令和 5 年度末現在高 4,936,571 円） 5 千円	1 千円
合計		618,685 千円	624,757 千円		542,377 千円

※繰越を除く

令和 6 年度富山市ガラス美術館の主要事業について

1 作品収集保存事業

趣旨

美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。

(1) 富山市ガラス作品等収集審査会について

ア 目的等

美術館におけるガラス作品及び関連資料の適正な収集を図るため、富山市ガラス美術館条例に基づく「富山市ガラス作品等収集審査会」を設置し、ガラス作品等を収集している。

イ 任命

審査会の委員は、ガラス作品等に関して学識経験を有する者の中から、教育委員会が任命する。

ウ 定数等 定数 5 人以内、任期 2 年

エ 富山市ガラス作品等収集審査会委員

任期 令和 6 年 6 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日まで

氏 名	役職等	専門等
藤原 信幸（会長）	東京藝術大学大学院 ガラス造形研究室教授	ガラス造形
島 敦彦（職務代理）	国立国際美術館長	現代美術
池田 まゆみ	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師	美術工芸史
外館 和子	多摩美術大学教授	工芸史
唐澤 昌宏	国立工芸館長	近・現代工芸史

(2) 作品収集方針について

富山市では、次の 5 つの収集方針のもと、収集を行っている。

ア 主に 1950 年代以降に制作された、現代ガラス美術発展の流れに沿った国内外のすぐれた作品

イ 次世代のガラス美術の方向を予見させる革新的で質の高い作品

ウ ガラス美術を歴史的・体系的に整理し、美術史上に位置づけるうえで重要と思われる作品

エ ガラス美術以外の造形分野で、“透き通る”というコンセプトにおいて特にすぐれており、ガラス美術の発展の参考となりうる作品

オ その他、美術館が収蔵するのにふさわしい資料等

(3) これまでの収集作品数について
666点の現代ガラス作品等を収集

(4) 令和6年度の収集作品について

令和6年11月13日(水)に「令和6年度富山市ガラス作品等収集審査会」を開催し、審査結果に基づき購入作品5点、寄附作品37件を収集することとした。

	作家名	作品名	制作年
購入作品	作田美智子	光の満ち引き	2023
	シゲフジシロ	海底(底引き網)	2023
	木下結衣	余波	2023
	大平洋一	宇宙	2003
	大平洋一	ガラスパウダー	2006
寄附作品	タンニャ・パアク	rêverie	2022
	ダリア・トルスカイトウ	Forgotten	2023
	ダフナ・カフマン	Assembly, 2023	2023
	小林貢	青の舞 他1件	1978-1981
	淡島雅吉	ビトモール花器 他3件	1950-1970年代
	扇田克也	HURRICANE 他17件	1987-2012
	大平洋一	茶碗「白綾」 他8件	1990-2010年頃
	マルコ・モーロ	ヴェネツィアとラグーナの鳥瞰図	1855

2 調査研究事業

趣旨

全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動により、収集・展示・教育普及といった美術館の基本的な活動の質を高めるもの。

(1) 調査研究

作品の収集、保存、展示に関する調査研究を行うとともに、文化庁、全国美術館会議をはじめ、加盟する団体などが主催する専門的な知識・技術に関する研修に参加し、美術館の業務全般にわたり、スキルアップを図った。また、関係書籍の収集を行い、当館における調査研究を進めた。

現代ガラス作品を多く所蔵し、展示する当館では、文献による情報収集だけではなく、直接作家へ作品コンセプトや制作方法の聞き取りを行い、作品や作家、展示についての調査研究を深めた。

この他、他館学芸員や学識者との情報や刊行物の交換、美術資料の相互貸借等による連携や協力活動も行った。

(2) 加盟団体

ア ICOM (International Council of Museum : 国際博物館会議)

ICOM は、ミュージアムの進歩と発展を目的とした世界で唯一かつ最大の国際的非政府組織である。1946 (昭和21) 年に創設され、世界131の国と地域から51, 302人の個人会員と3, 000団体、4の特別委員会、120の国内委員会、34国際委員会、8の地域連盟、23の加盟機関により構成されている。なお、国際委員会の一つである「ICOM GLASS」の会長に、土田館長が就任。(令和4年12月～)

イ グラス・アート・ソサエティ

1971 (昭和46) 年にアメリカ・シアトルで設立されたガラス芸術の推進、教育普及、発展促進に貢献する国際的な非営利団体。作家や教育者、美術館、ギャラリー、美術批評家などのガラスに携わる人達の交流促進を目的に活動している団体。会員数は40カ国 5, 000人以上。

ウ 日本博物館協会

館種や設置者を越えた横断的な博物館振興のための中核機関。1928 (昭和3) 年設立。「博物館研究」の発刊のほか、全国博物館大会、研究協議会等を開催し、博物館活動情報や諸問題について研究協議を行っている。

現在、1, 295 (団体会員1, 164、賛助会員51、個人会員80) の会員が参加している。(2023 (令和5) 年4月時点)

エ 全国美術館会議

「日本の美術館がともに考え、ともに行動すること」を目指し、1952（昭和27）年に設立。当会議は、収集・保存、調査・研究、展示、教育普及等の活動を通じて美術作品やそれに関わる資料を未来に伝えていくという美術館の使命を支え、社会的に根付かせるため、総会や研究会等を毎年開催し、広く情報の共有を行っている。2020（令和2）年4月1日に一般社団法人に設立登記し、410館（国立11館、公立259館、私立140館）の正会員と、47名の個人会員、52団体の賛助会員で組織されている。（2023（令和5）年5月25日時点）。

オ 北信越博物館協会

北信越博物館協会は博物館相互の連絡を図り、博物館活動の振興に努め、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、富山・石川・福井・長野・新潟各県内にある博物館及び総会で認めたこれに準ずる施設等によって組織される。

カ 富山県博物館協会

「富山県内にある博物館施設の関係者相互の連絡提携をとり、博物館事業の普及発展を図ること」を目的とし、1966（昭和41）年に結成された。現在県内の博物館・美術館を含む、公立や私立の77施設が加盟している。（2023（令和5）年3月14日時点）

キ 日本ガラス工芸学会

ガラスに関わる研究会や資料紹介・講習会等の活動を通じて、ガラスの研究者、同好者、制作者との交流を促進するとともに、海外関係団体との提携によりガラス研究と文化の振興を図ることを目的として、1975（昭和50）年に設立。特別会員1、賛助会員3、一般法人会員11、正会員177、購読会員4の合計196の個人と団体が加盟している（2023（令和5）年3月末日時点）。

3 展覧会開催事業

趣旨

現代ガラス美術がもつ多様な側面に焦点を合わせた幅広い内容の作品に出会い、対話する機会を、市民をはじめ、より多くの方々に提供するため、ガラス美術作品の常設展示・企画展示を行うもの。

(1) 令和6年度 常設展等の概要

ア コレクション展

(ア) 概要

富山市ガラス美術館では、主に1950（昭和25）年代以降に制作された国内外の現代ガラス作品を所蔵している。コレクション展では、所蔵作品の展示を行うことで、作家たちがそれぞれの思想や文化、社会的背景、価値観を反映しながら生み出してきた多様な表現を紹介する。

(イ) 会期等

① コレクション展 交錯する素材

令和6年6月8日（土）～令和6年12月1日（日）

② コレクション展 光の「うつわ」

令和6年12月7日（土）～令和7年6月1日（日）

(ウ) 会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※6階グラス・アート・ガーデンも観覧可

(オ) 関連事業（学芸員によるトークイベント）各回14時～

■ コレクション展 交錯する素材 ギャラリートーク

令和6年6月30日（日）、7月28日（日）、8月24日（土）、9月14日（土）、10月20日（日）、11月16日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

■ コレクション展 光の「うつわ」 ギャラリートーク

令和6年12月21日（土）、令和7年1月19日（日）、2月22日（土）、3月15日（土）、4月20日（日）、5月17日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(カ) 展示風景

交錯する素材



撮影：空耳カメラ

光の「うつわ」



撮影：田中祐樹

イ グラス・アート・ガーデン：チフリー・エクスペリエンス

(ア) 概要

「トヤマ・フロート・ボート」など、建物と融合するように展示される5つのインスタレーション（空間芸術）作品とパネル作品は、現代ガラス芸術を代表する作家、デイル・チフリー氏と彼のスタジオメンバーによって2015（平成27）年に制作された。来場者は美術館6階を回遊することで、鮮やかな色彩のガラス、幻想的な光と影で表現されたデイル・チフリー氏の多様な作品を体感・体験することが出来る。

(イ) 会期 通年

(ウ) 会場 グラス・アート・ガーデン（6階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※4階コレクション展も観覧可

ウ グラス・アート・パサージュ

(ア) 概要

富山ゆかりの作家によるガラス作品を「TOYAMA キラリ」内に展示するもの。富山ガラス造形研究所や富山ガラス工房において作品制作、作家活動を行い、その後全国各地で活躍する20名の作家によって制作された作品を展示。2階から4階までの美術館と図書館のオープンエリアにおよそ50点の作品を展示することで、来館者が気軽に現代ガラス表現を鑑賞できる機会となっている。

館内にて同展示について紹介する小冊子『グラス・アート・パサージュガイドブック』を配布している。

(イ) 会期 通年（年に1回展示替え）

(ウ) 展示風景



4階（展示室4の壁面）



4階（図書館内）

エ ストリート・ミュージアム

(ア) 概要

まちなかの歩道や建物内にガラス作品等を展示している。

(イ) 設置箇所

- ・エキシビジョン・ショーケース：市内に6基設置（うち屋外ショーケース1基、屋内ショーケース5基）
- ・広告パネル：アヴィレ（自転車市民共同利用システム）付近にショーケース3基、ポスター掲示パネル1基設置



エキシビジョン・ショーケース



広告パネル

(2) 令和6年度 企画展概要

ア 回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ

(ア) 概要

本展は、ニューヨークに位置するバリー・フリードマン・ギャラリー特別協力の元、生涯をガラスに捧げ2022年に逝去した作家、大平洋一氏を没後初めて紹介する大規模回顧展である。氏は、ヴェネツィアを拠点に約38年間にわたり、職人達と共にガラス造形の美を追求した人物で、ガラス史の学術的な研究者でもあった。本展では、アメリカとイタリアから借用した個人蔵106点ほか、国内を含む計220点を当館独自の展示構成で紹介した。会場には、吹きガラス作品をはじめ、古代やルネサンス期のガラス、デザイン画などの平面作品や、17、18世紀のガラス製造方法を記した貴重書や版画資料など、時代を超えてガラスを研究した氏の探求心を示す多様な作品が並んだ。中でも、制作過程を示す作品を描いた緻密なデザイン画は、ヴェネツィアン・ガラスの伝統を超えてガラスの美しさを引き出す表現に辿りついた、大平氏の創作への情熱を体感する展示となった。本展関連プログラムとして、会期中には担当学芸員による解説を実施したほか、土田館長が作家の背景について語るスペシャルトークや、イタリアの歌曲にちなんだコンサートを開催し、幅広い世代に展覧会を届ける機会を図った。

(イ) 会期 令和6年3月6日(土)～令和6年6月23日(日)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 25,935人(今年度分)(通算 33,390人)

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和6年3月8日(金) 16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■土田館長によるスペシャルトーク「孤高の表現者・大平洋一」

令和6年5月18日(土) 14時00分～16時00分 会場 2階ロビー

出演：土田ルリ子館長

■ライブラリー&ミュージアムコンサート「水の都に寄せて」

令和6年6月15日(土) 14時00分～14時30分 会場：2階ロビー

出演：高尾静佳(ソプラノ)、岩本剛輝(ピアノ)

■学芸員によるギャラリートーク

令和6年3月23日(土)、4月20日(土)、5月25日(土)、6月22日(土)

各回14時00分～ 会場 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

イ 富山ガラス大賞展 2024

(ア) 概要

本展覧会は、世界の現代ガラスアートの最新の成果を集め、その発展に貢献するために開催されるトリエンナーレ形式の国際公募展であり、2018年、2021年に続き3度目の開催となる今回は、世界50の国と地域から785件の応募があった。

国内外の審査員5名により、令和6年1月に一次審査、同年4月に二次審査が行われ、大賞、金賞など9件の入賞作品が選出された。

7月13日に開会した展覧会では一次審査を通過した入選作品50件を展示し、5万人を超える来館者が会場を訪れた。

(イ) 会期 令和6年7月13日(土)～10月14日(月・祝)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般 1,200円 大学生 1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 51,098人

(カ) 関連事業(一部抜粋)

■開会式・表彰式・内覧会

令和6年7月12日(金)16時00分～ 会場 2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■「石×ガラス×自由研究」

内容 身の回りにある石からガラスをつくるワークショップ

日時 令和6年7月27日(土)9時30分～(10名)

会場 富山市ガラス美術館、富山ガラス造形研究所、富山市科学博物館

■こども美術館

内容 他の来館者がいない休館日に、幼い子どもとその家族を美術館に招待する

日時 令和6年8月21日(水)10時00分～、14時00分～(各回5組)

会場 ガラス美術館 展示室1-3(2・3階)

■ガラス美術館探検隊

内容 TOYAMAキラリ及び市内文化施設をめぐるデジタルスタンプラリー

日時 展覧会会期中

会場 TOYAMAキラリ、富山ガラス工房、富山市科学博物館 他4か所

■学芸員によるギャラリートーク

令和6年8月31日(土)、9月28日(土)、10月14日(月・祝)

各回14時00分～ 会場 ガラス美術館 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：末正真礼生

ウ 没後120年 エミール・ガレ：憧憬のパリ

(ア) 概要

本展覧会では、アール・ヌーヴォーの巨匠として知られるエミール・ガレ（1846 - 1904）と芸術の都・パリとの関係に着目し、ガレがいかにして独自の芸術を創り上げ、国際的な名声を手にしたかを、彼の主要作品と関連資料計109件によって紹介した。先行研究やこれまでの展覧会の内容と傾向も踏まえながら、ガレが参加した3回のパリ万国博覧会を展示構成の核とすることで、彼の制作の歴史や表現の変遷を俯瞰するのみならず、商会の事業主としての手腕や社交界とのつながりからも作品を分析するという斬新な試みとなった。ガレという一人の芸術家の生涯を追い、その栄光の背後にあった苦悩やさまざまな感情にも焦点を当てた本展覧会は、富山での会期終了後、サントリー美術館（東京）に巡回した。

(イ) 会期 令和6年11月2日（土）～令和7年1月26日（日）

第1・第3水曜、年末年始（12月29日～1月1日）、1月8日は閉場

(ウ) 会場 展示室1-3（2・3階）

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円、高校生以下無料

(オ) 観覧者数 27,896人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和6年11月1日（金）16時00分～ 会場：2階ロビー、展示室1-3（2・3階）

■ワークショップ「ガラスのヒンメリをつくろう」

令和6年12月7日（土）午前の部：10時30分～12時00分、

午後の部：14時00分～15時30分 会場 6階レクチャールーム

講師 富山市ガラス美術館職員

■記念講演会「エミール・ガレ その人と芸術」

令和7年1月18日（土）14時00分～

会場 2階ロビー 講師 土田ルリ子（富山市ガラス美術館館長、本展企画・監修者）

■館長による作品解説

令和6年11月10日（日）、30日（土）、12月15日（日）、

令和7年1月11日（土） 各回14時00分～ 会場 展示室1-3（2・3階）

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和6年11月10日（日）13時00分～13時30分 会場：2階ロビー

(キ) 展示風景



撮影：大籾 英武



撮影：大籾 英武

エ ガラスの街とやま連携展・富山ガラス工房創立30周年記念

まなざしとリズムー富山ガラス造形研究所教員10人の表現

(ア) 概要

「ガラスの街とやま連携展」は、富山市が30年以上にわたり「ガラス」をまちづくりのテーマの一つに掲げる中で、その拠点として整備を進めてきた3つの機関（富山ガラス造形研究所、富山ガラス工房、富山市ガラス美術館）が連携して開催する展覧会である。3年目となる今回は、作家育成を行う「富山ガラス造形研究所」（以下、「研究所」という）に焦点を当て、研究所で教員として学生の教育に携わりながら、独自の制作活動も展開する10人の作家を紹介した。

展覧会では作家達の近年の作品または新作を展示し、研究所に在籍する教員の幅広さを示しながら、「まなざし」と「リズム」をそれぞれの異なる表現同士を繋ぐキーワードとした。各作品に現れる、見ることの意味や他者の視点といったテーマ、あるいは色や形の組み合わせから生まれるリズムが、展覧会においてゆるやかに関連し合うような展示構成とした。

また同時期に3階、5階で開催された、研究所の卒業制作展と併せて見ることで、研究所において生まれる表現の多様な状況を実感できる機会となった。

(イ) 会期 令和7年2月8日（土）～2月16日（日）

(ウ) 会場 展示室1・2（2階）

(エ) 観覧料 無料

(オ) 観覧者数 4,940人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和7年2月7日（金）16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1～3（2・3階）および5階ギャラリー1・2

■富山ガラス造形研究所 卒業制作展2025 記念講演会

令和7年2月7日（金）13時30分～15時

会場：2階ロビー

主催：富山ガラス造形研究所

■ワークショップ「色鉛筆で描く、ガラスの雷鳥制作」

令和7年2月8日（土）、2月9日（日）、2月11日（火・祝） 全5回

会場：2階ロビー

主催：一般財団法人富山市ガラス工芸センター（富山ガラス工房第2工房）

(キ) 展示風景



撮影：柳原良平

オ 富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering—つなぐ創造力

(ア) 概要

1994年に開設された富山ガラス工房は、2024年で30周年を迎えた。同工房は「ガラスの街とやま」において、ガラス作家の育成と自立支援、グラスアートの普及、ガラス工芸産業の振興を担う施設として設立された。その長い歩みの中で、ガラスの制作体験や制作講座などを通じたガラス文化の普及事業、工房オリジナル色ガラスの開発を始めとした富山ガラスのブランディング、他分野の作家や他業種とのコラボレーションなど様々な取り組みを行っている。

工房にはこれまで120名を超える作家が所属し、その創造力あふれる若い才能が、富山ガラスの魅力を発信してきた。所属作家はスタッフとして過ごす日々を通して切磋琢磨し、その多くは工房を離れたのちも、ガラス作家として国内外で活躍している。

本展では歴代所属作家のうち81名の作品と共に、工房の30年の歩みを振り返るものである。年代により30年間で3つの章に分けて展示を構成し、それぞれの時代における所属作家の作品と、工房の活動を紹介する。

(イ) 会期 令和7年3月8日(土)～令和7年6月22日(日)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 14,692人(3月31日時点)

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和7年3月7日(金) 16時00分～

会場：2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和7年3月23日(土) 14時00分～14時30分 会場：2階ロビー

会場：2階ロビー

■トークセッション(予定)

令和7年5月31日(土) 14時00分～16時00分 会場 2階ロビー

■学芸員によるギャラリートーク(予定)

令和7年3月29日(土)、4月26日(土)、5月25日(日)、6月21日(土)

各回14時00分～ 会場 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：大木賢(nando inc.)

4 教育普及事業

趣旨

美術館が掲げる基本方針に則り、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、豊かな感性や知的好奇心を育むため、教育普及プログラムを行うもの。

(1) 令和6年度 教育普及事業の概要

ア 令和6年度学校招待プログラム

(ア) 概 要

富山市内および広域連携中枢都市圏市町村の小学校4年生をガラス美術館および市立図書館本館へ招待した。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした教育普及プログラムを、図書館では知識教養を深めることを目的としたプログラムを計画し、併せて複合施設の建築見学も行った。

(イ) 実施期間 令和6年6月21日～11月28日（計42回実施）

(ウ) 参加実績 73校／3,275名 ※児童数のみ

(富山市61校／2,955名、滑川市4校／167名、上市町3校／42名、立山町4校／75名、舟橋村1校／36名)



左：コレクション展鑑賞の様子（バーティル・ヴァリーニ《振子Ⅲ》1990年）

右：触れるガラス教材鑑賞の様子

(2) 実習等受け入れ

ア 社会に学ぶ『14歳の挑戦』

(ア) 概 要

富山市内の中学2年生が「規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に着ける」ため実施される4日間の職場体験活動について、受入を行った。

(イ) 日 程 9月17日（火）～9月20日（金）

(ウ) 受入実績 4名（堀川中学校4名）

イ 博物館実習

(ア) 概 要

学芸員資格の取得を目指す大学生に対し、博物館法施行規則第1条の規定に基づき、博物館実習の受入を行った。

(イ) 日 程 8月26日（月）～8月30日（金） 計5日間

(ウ) 受入実績 5 名 (富山大学 2 名、帝京科学大学、大阪大学、多摩美術大学)

5 広報活動事業

趣旨

ガラス美術館の活動を広く多くの人に周知するため、開催する展覧会等に関する広報活動を行うもの。

(1) 主な広報（広告）媒体

ア 広報とやま（発行部数：17万5千部）

美術館の企画展特集や見どころトーク情報、臨時休館情報を掲載。

特集掲載号（※お知らせ等の簡易な掲載は除く）

7月5日号、10月10日号、3月5日号



（企画展特集）
富山ガラス大賞展2024



（企画展特集）
没後120年
エミール・ガレ：憧憬



（企画展特集）
富山ガラス工房開設30周年記念展
Gathering（ギャザリング）
一つなぎ創造力

イ 新聞広告

企画展についての新聞広告を掲載。

北日本新聞	7月12日（金）（美術館）
	7月13日（土）（富山ガラス大賞展）
	7月26日（土）（富山ガラス大賞展）
	8月9日（土）（富山ガラス大賞展）
	11月2日（土）（ガレ展）
	3月8日（土）（富山ガラス工房30周年記念展）
富山新聞	4月14日（日）（美術館、大太平洋一展）
	1月1日（月）（ガレ展）
	3月8日（土）（富山ガラス工房30周年記念展）



（北日本新聞 半5段広告）
ガレ展



（富山新聞 正月広告）
ガレ展

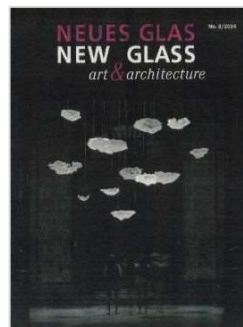
ウ 海外雑誌広告

アーバングラス（富山ガラス大賞展）

ノイエスグラス（富山ガラス大賞展）



アーバングラス



ノイエスグラス



エ 「まっぷる」、「るるぶ」美術館広告

旅行誌「まっぷる」「るるぶ」にガラス美術館広告を掲載。

まっぷる富山（4月発行、4万5千部）

まっぷる北陸金沢（9月発行、8万8千部）

まっぷる金沢（2月発行、13万3千部）

るるぶ富山（2月発行、3万5千部）、

るるぶ金沢（3月発行、10万4千部）



まっぷる金沢 1p



るるぶ富山 1p



オ 「美術手帖」企画展広告

現代美術を中心に、国内外の美術動向を紹介する美術雑誌。

雑誌広告 発行部数：20,000部

6月7日発売 7月号（富山ガラス大賞展）

12月7日発売 1月号（ガレ展）



美術手帖 2025.1月号

カ 「トランヴェール」美術館広告（12月号）

（閲読可能者数：平均900万人／月（2021年度輸送人員データ）

JR東日本の新幹線〈北陸・上越・東北（北海道）・山形・秋田〉
全座席ポケットに設置されているフリーペーパーに美術館全体の広
告を掲載。



2024年12月号（1/3p）

キ 関連施設での展覧会ポスター掲載

富山城址公園

「富山ガラス大賞展」（6基）

富山駅南北自由通路

「富山ガラス大賞展」（3か所）

「ガレ展」（3か所）

富山駅構内バナー

「富山ガラス大賞展」（2か所）

富山市中心市街地シクロシティポスター塔

「富山ガラス大賞展」（30か所）

富山空港

「富山ガラス工房30周年記念展」（2か所）



富山駅構内バナー



富山駅南北自由通路



富山空港

ク サイネージ広告
金沢駅サイネージ（富山ガラス大賞展）



ケ ウェブ広告
ガラス美術館公式Instagram（富山ガラス大賞展、ガレ展、富山ガラス工房 30 周年記念展）
まいにち富山Instagram（富山ガラス大賞展、ガレ展、富山ガラス工房 30 周年記念展）



Instagram（ガレ展）



Instagram（富山ガラス工房開設 30 周年記念展）

コ ガラス美術館ホームページ
展覧会情報や見どころトークをはじめとしたイベント情報などを随時発信。



サ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用

令和2年度に立ち上げたFacebook及びInstagramの当館独自の公式アカウントに加えて、令和3年度にはYouTubeの公式チャンネルを開設し、継続的にイベントのライブ配信を実施。

Facebook



Instagram



YouTube



(2) 令和7年度年間スケジュール



年間スケジュール（両面カラー A4 巻き三つ折 日 40,000 部・英 3,000 部）

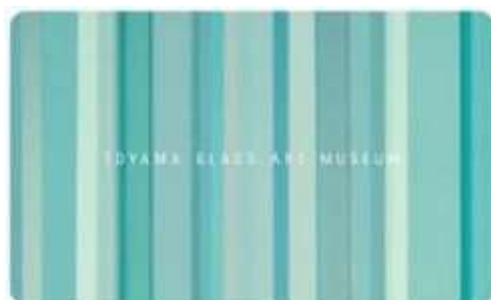
(3) 多言語での美術館情報の提供

海外観光客の利便性を向上させるため、「QR Translator」を平成28年度に導入。展示会のチラシや名刺型のカードに印刷したQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、館内案内や展示会情報を8カ国語（日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語）で表示できる。

令和2年度に当日観覧券にもQRコードを印字、令和3年度には、グラス・アート・ガーデンの音声ガイドを導入し、利用者の利便性の向上を図っている。



スマートフォンでの表示画面



名刺型のカード：表面



名刺型のカード：裏面



当日観覧券

令和6年度TOYAMAキラリ公益施設（美術館及び図書館）入館者数及び富山市ガラス美術館観覧者数について

【月別】

月	TOYAMAキラリ (公益施設) 入館者数	美術館観覧者数（人）												
		有料						無料					合計	開館日数
		一般	大学生	団体	前売券	一部減免 ※1	小計	高校生以下	招待者	減免 ※2	教育普及 (引率者含む)	小計 ※3		
R6. 4	50, 334	14, 509	218	1, 177	33	2, 984	18, 921	1, 351	228	899		2, 478	21, 399	28
5	53, 224	14, 872	249	1, 196	5	2, 972	19, 294	1, 928	312	969		3, 209	22, 503	28
6	43, 144	9, 363	130	617	8	2, 495	12, 613	756	520	545	193	2, 014	14, 627	28
7	53, 710	12, 564	225	149	7	2, 671	15, 616	2, 267	294	723	1, 049	4, 333	19, 949	29
8	74, 283	21, 397	942	162	2	5, 274	27, 777	5, 895	307	1, 294	12	7, 508	35, 285	29
9	55, 241	16, 423	860	677	7	3, 689	21, 656	1, 226	356	881	812	3, 275	24, 931	28
10	58, 230	18, 507	170	1, 437	7	2, 931	23, 052	1, 847	433	957	917	4, 154	27, 206	29
11	57, 993	17, 844	208	994	44	3, 787	22, 877	1, 276	407	2, 482	527	4, 692	27, 569	28
12	38, 849	8, 656	184	486	39	2, 201	11, 566	875	245	520	0	1, 640	13, 206	26
R6. 1	54, 503	15, 461	242	755	106	2, 582	19, 146	1, 926	968	1, 049		3, 943	23, 089	16
2	54, 283	16, 942	0	1, 176	0	1, 452	19, 570	1, 597	134	683		7, 354	26, 924	27
3	67, 992	20, 099	869	1, 365	5	4, 054	26, 392	3, 139	431	1, 489		5, 059	31, 451	29
合計	661, 786	186, 637	4, 297	10, 191	263	37, 092	238, 480	24, 083	4, 635	12, 491	3, 510	49, 659	288, 139	325

資料2-3

※1…(例)「えこまいか」の提示、「地鉄電車・バス1日ふり〜きつぷ」の提示など

※2…(例)富山市民で70歳以上の方、「孫とおでかけ」支援事業など

※3…企画展「ガラスの街とやま連携展」の会期は2/8～2/16で、観覧料は無料。受付で人数のみカウントしており券種区分は不明であるため、本展観覧者数4,940名は2月の小計に計上。

令和6年度富山市ガラス美術館展覧会別観覧者数について

【展覧会別】

		展覧会観覧者数（人）											
展覧会名	会期	開場日数	有料						無料				
			一般	大学生	団体	前売券	一部減免	小計	高校生以下	招待者	減免	教育普及	小計
回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ	4/1～6/23	78	14,024	597	536	46	4,501	19,704	3,227	1,013	1,991	0	6,231
富山ガラス大賞展2024	7/13～10/14	88	26,498	2,197	135	23	9,123	37,976	9,017	1,245	2,860	0	13,122
没後120年 エミール・ガレ：憧憬のバ リ	11/2～1/26	76	14,758	634	158	189	5,327	21,066	3,087	1,522	2,219	0	6,828
ガラスの街とやま連携展 まなざしとリ ズム-富山ガラス造形研究所 教員10人 の表現	2/8～2/16	9											4,940
富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering-つなぐ創造力	3/8～3/31	23	7,243	869	1	5	2,432	10,550	2,675	340	1,127	0	4,142
常設展 ※2	4/1～3/31		124,114		9,361	0	15,709	149,184	6,077	515	4,294	3,510	14,396
合計			186,637	4,297	10,191	263	37,092	238,480	24,083	4,635	12,491	3,510	49,659
													288,139

※1 観覧料は無料。受付で人数のみカウントしたため券種区分は不明。
 ※2 常設展のみの観覧者（企画展観覧券による常設展観覧者は除く）

「TOYAMAキラリ」及び「富山市ガラス美術館」来館者数の推移

		TOYAMAキラリ公益施設 (美術館・図書館)				ガラス美術館				
		来館者数		開館日数		来館者数		開館日数		
		月計	累計	月計	累計	月計	累計	月計	企画展 開催日	常設展 開催日
H27	年度計	484,998	484,998	211	211	126,607	126,607	204	168	204
H28	年度計	623,584	1,108,582	350	561	138,618	265,225	337	276	333
H29	年度計	739,344	1,847,926	361	922	129,007	394,232	337	278	331
H30	年度計	1,058,161	2,906,087	364	1,286	374,899	769,131	342	285	338
R1	年度計	804,150	3,710,237	365	1,651	163,797	932,928	341	282	337
R2	年度計	514,178	4,224,415	332	1,983	118,992	1,051,920	302	270	293
R3	年度計	522,107	4,746,522	343	2,326	94,393	1,146,313	313	236	305
R4	年度計	646,261	5,392,783	361	2,687	175,170	1,321,483	337	274	337
R5	年度計	672,016	6,064,799	348	3,035	208,683	1,530,166	325	249	325
R6	4月	50,334	6,115,133	30	3,065	21,399	1,551,565	28	28	28
	5月	53,224	6,168,357	31	3,096	22,503	1,574,068	29	29	29
	6月	43,144	6,211,501	30	3,126	14,627	1,588,695	28	21	28
	7月	53,710	6,265,211	31	3,157	19,949	1,608,644	29	18	29
	8月	74,283	6,339,494	31	3,188	35,285	1,643,929	29	29	29
	9月	55,241	6,394,735	30	3,218	24,931	1,668,860	28	28	28
	10月	58,230	6,452,965	31	3,249	27,206	1,696,066	29	13	29
	11月	57,993	6,510,958	30	3,279	27,569	1,723,635	28	27	28
	12月	38,849	6,549,807	28	3,307	13,206	1,736,841	26	26	26
	1月	54,503	6,604,310	30	3,337	23,089	1,759,930	28	23	28
	2月	54,283	6,658,593	28	3,365	26,924	1,786,854	26	0	26
	3月	67,992	6,726,585	31	3,396	31,451	1,818,305	29	23	29
	年度計	661,786	6,726,585	361	3,396	288,139	1,818,305	337	265	337

令和6年度 富山市ガラス美術館 5階ギャラリー使用実績について

資料2-4

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	催 事 名	開催期間	展示日数		主催者	入場者数
			ギャラリー1	ギャラリー2		
1	Abox Photo Club Toyama 2024 写真展Vol.7	5/17(金)～5/19(日)	3	3	Abox Photo Clubとやま写真展実行委員会	935
2	蠢く高岡で澄む 春のグループ展	5/21(火)～5/26(日)	6	6	高岡で澄む実行委員会	1,266
3	写真展「色褪せない一瞬を。」	6/8(土)～6/9(日)	2	2	谷島匠海	1,281
4	富山市ガラス造形研究所コールドクラス展	7/12(金)～7/17(水)	6		富山ガラス造形研究所	2,368
5	富山市所蔵作品展	8/1(木)～8/22(木) ※8/7(水)、8/21(水)休館日	20		文化国際課	13,884
6	第13回グループゆう展	8/25(日)～8/29(木)	5		ゆう展実行委員会	1,266
7	第17回悠画展	8/25(日)～8/29(木)		5	悠画会	1,150
8	書道教室Sunroom展2024愛～Love～	9/6(金)～9/8(日)	3	3	書道教室Sunroom	1,359
9	第6回竹翠会書作展	10/4(金)～10/6(日)	3		竹翠会	581
10	マザーズキルト展	10/8(火)～10/11(金)	4	4	マザーズキルト	1,045
11	JAGDA富山 ポスターデザイン展2024 GREEN vol.29	10/12(土)～10/16(水)	5		公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会富山地区	1,141
12	おえかきキッズ作品展 2024	10/19(土)～10/20(日)		2	おえかきキッズ	613
13	EXOTICA vol.2	10/22(火)～10/27(日)	6	6	EXOTICA運営団体	1,773
14	神田祐樹・硝子の住人たち	11/2(土)～11/5(火)		4	日本社会福祉デザインセンター	2,025
15	富山ガラス造形研究所アーティスト・イン・レジデンス2024 ノア・ハギラディ展	11/13(水)～11/19(火)		7	富山ガラス造形研究所	1,891
16	ONEワク 2024 展示	11/25(水)～12/1(日)	7		まちづくり推進課	1,124
17	富山デザインコンペティション2024 作品展	12/17(火)～12/26(木)	10		富山デザインウエーブ開催委員会	1,125
18	富山ガラス造形研究所造形科1年生グループ展「Park」	1/25(土)～1/30(木)	6	6	富山ガラス造形研究所	3,749
19	富山ガラス造形研究所卒業制作展2025	2/8(土)～2/16(日)	9	9	富山ガラス造形研究所	6,126
20	佐竹美保原画展	2/22(土)～3/23(日)	29	29	富山市立図書館交流行事運営委員会	20,259
21	富山工芸協会展覧会	3/28(金)～3/31(月)	4		富山工芸協会	2,599
合 計			128	86		67,560

令和 6 年度公益施設内関連イベント実施状況について

1 美術館関連イベント（併設する図書館主催のイベントは除く）

(1) ライブラリー&ミュージアムコンサート

ガラス美術館の企画展に合わせてピアノやヴォーカルのコンサートを実施した。

日程：令和 6 年 6 月 15 日（土）、11 月 10 日（日）、
令和 7 年 3 月 23 日（日）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー



ライブラリー&ミュージアムコンサート

(2) TOYAMA キラリ 防火・防災訓練の実施

TOYAMA キラリ内に勤務する職員（美術館、図書館、カフェ、ミュージアムショップ、富山第一銀行、施設管理委託業者）で、自主防火・防災訓練（被害状況の通報、消火、避難訓練など）を実施した。

日程：令和 6 年 9 月 4 日（水）

会場：TOYAMA キラリ



TOYAMA キラリ防火・防災訓練

2 その他のイベント（富山市 他課担当事業）

(1) 「令和 6 年度富山市公募提案型協働事業」事業説明会

まちづくりのアイデアを提案し、提案者と市が協働で地域の課題解決に取り組む富山市公募提案型協働事業説明会及び報告会を行った。

日程：令和 6 年 4 月 7 日（日）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（市民協働推進課）



令和 6 年度富山市公募提案型協働事業説明会

(2) 市民ミニコンサート

「市民ミニコンサート」を 8 回開催した。

日程：令和 6 年 4 月 26 日、5 月 17 日、
7 月 26 日、8 月 16 日、12 月 6 日、
12 月 20 日、令和 7 年 1 月 17 日、3 月 14 日
（いずれも金曜日）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（文化国際課）



市民ミニコンサート

- (3) 北信越市長会エクスカーショ
ン
エクスカーショ会場のひとつとして北信越5県
69市の市長を出迎え、TOYAMAキラリの
概要を説明した。

日程：令和6年5月16日（木）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（秘書課）



北信越市長会エクスカーショ

- (4) まちなか音楽祭

まちなか音楽祭の会場のひとつとして、羽田オーケ
ストラ、および富山シティフィルハーモニーが演奏
を行った。

日時：令和6年10月5日（土）、6日（日）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（文化国際課）



まちなか音楽祭

- (5) 富山未来創造ミーティング2024

市民と行政の協働により、「まちづくり」を考える
市民討議会を開催した。

日程：令和6年10月20日（日）

会場：TOYAMA キラリ 2F イートスペース

主催：富山市（商工労政課）



富山未来創造ミーティング2024

- (6) ONEワク2024

富山県内の建築を学ぶ大学生等を対象に、設計課
題に挑むワークショップを開催し、模型展示を行
った。

日程：令和6年11月16日（土）

会場：TOYAMA キラリ 2F イートスペース

主催：富山市（まちづくり推進課）



ONEワク2024

- (7) 富山ガラス造形研究所卒業制作展講評会

富山ガラス造形研究所卒業制作展に係る講評会を
実施した。

日程：令和7年2月8日（金）

会場：TOYAMA キラリ 2F ロビー

主催：富山市（富山ガラス造形研究所）



富山ガラス造形研究所 卒業制作展

「富山市ガラス美術館」来館者アンケート概要

(1) アンケート実施期間：2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）

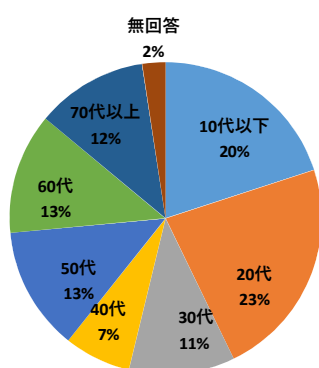
(2) 実施要領：各階受付に用紙・回収箱を設置

(3) 期間中来館者数：661, 786人

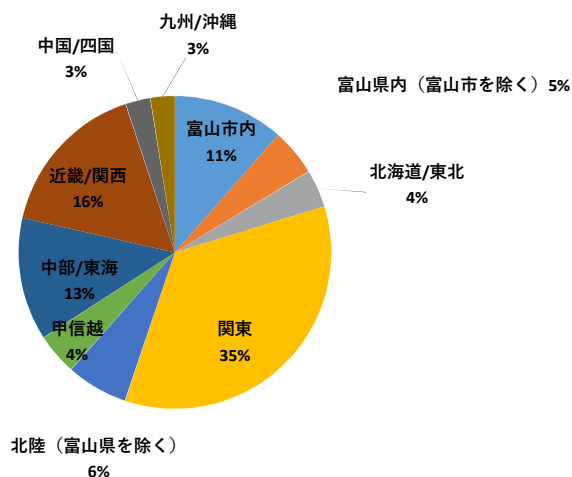
(4) 回答数：日本語版 1, 446件

国名・感想のみを記入の英語版は339件 合計1, 785件

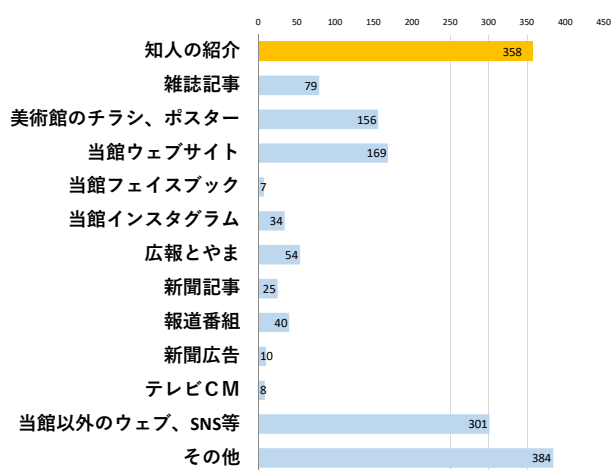
1. 年齢



2. 居住地域



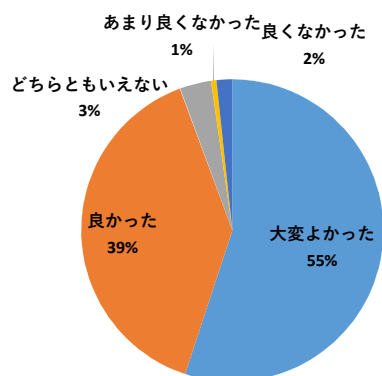
3. 来館のきっかけ



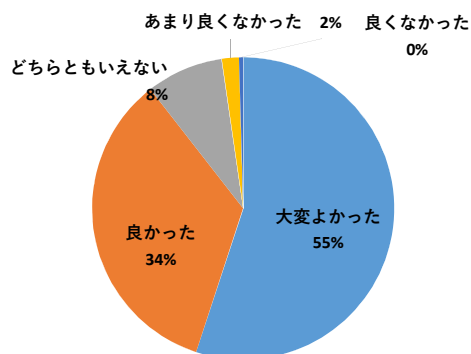
「その他」の内訳

旅行3、ことりっぷ（本）2、ガイドブック8、地図で見て3、生で見て知っていた、ネット5、富山の観光案内3、校外学習6、通りがかり4、youtube11、学校3、Google検索4、TikTok4、SNS3、ツアー3、バスツアー、Google Map31、ネットサーフィン2、ネット検索、富山観光ガイド、観光ガイド、富山市の観光ウェブサイト、近くを通った、「前から知っていた」という項目を入れるべき、以前から知っていた、知っていたから、おすすめであった、家族の紹介、お母さん2、子供孫達と一緒に、たまたま、近くにきたから（ツタヤ）、本5、富山駅にあった広報誌、学校の授業、ネットで調べて！、近くに来たから、ホテルのおすすめスポット、有名だから、偶然見かけて2、旅行ガイド、孫の美術館訪問課題、富山市の観光ガイド（紙）、スタンプラリー、ガラスが好きなので、NewYorkTimesの記事を読んで

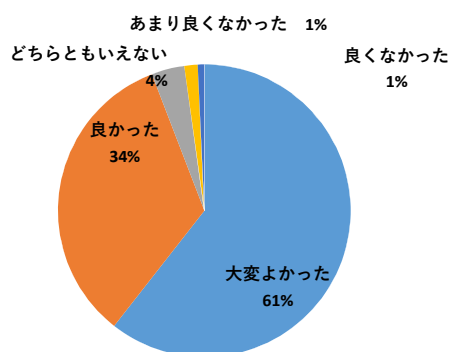
4. 大太平洋一展



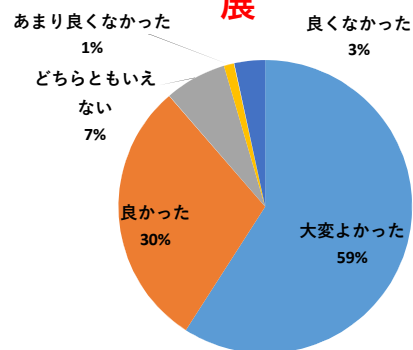
5. 富山ガラス大賞展



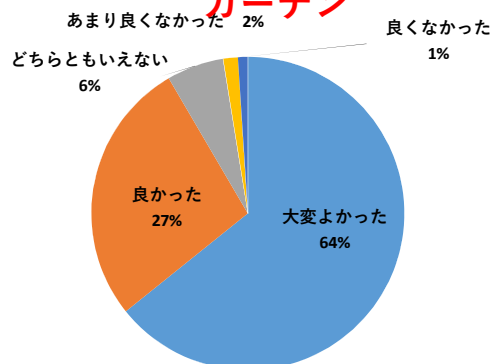
6. エミール・ガレ展



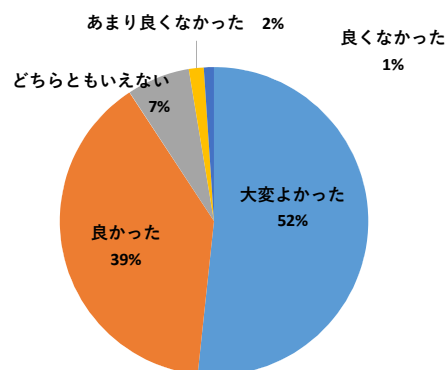
7. 富山ガラス工房記念展



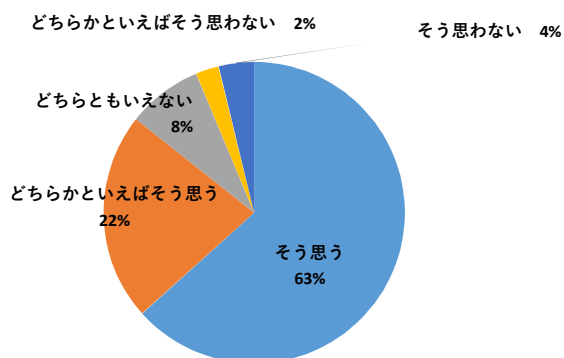
8. グラス・アート・ガーデン



9. コレクション展



10. 本美術館にまた来館したい (他の人にすすめたい) と思うか



11. 主な美術館への要望

来場者への対応が良くない	96件
入場料を安くしてほしい	4件
ベンチを増やしてほしい	10件
監視員が多い	6件
館内の案内をわかりやすくしてほしい	6件
作品、展示室が少ない	8件
作品解説を増やしてほしい	9件
作品に触れたい	5件
作品の見せ方を工夫してほしい	9件
展示作品の前に柵、線、ロープ等があると良い	2件
正面入り口、建物の場所がわかりづらい	5件
カフェの価格が高い	1件
BGMが鑑賞の邪魔をしている	3件
駐車場がほしい	10件
写真撮影・SNS掲載できる場所を増やしてほしい	9件
展示作品の立入禁止場所がわかりづらい	2件
ほこり等の汚れが気になる	12件
待ち合わせをするスペースが欲しい	1件

【参考】英語版アンケート回答者の居住地

アイルランド	2	シンガポール	20	ネパール	1
アメリカ	44	スイス	3	ノルウェー	1
アルゼンチン	1	スウェーデン	1	ハンガリー	2
イギリス	9	スペイン	5	フィリピン	3
イタリア	2	スロバキア	1	ブラジル	4
インド	9	スロベニア	2	フランス	15
インドネシア	9	タイ	12	ポルトガル	1
ウルグアイ	2	台湾	25	ポーランド	1
エストニア	1	チェコ	1	マルタ	1
オーストラリア	36	チリ	1	マレーシア	5
カナダ	12	中国	40	モンゴル	3
カメルーン	1	デンマーク	2	ロシア	2
韓国	9	ドイツ	18	不明	12
ジャカルタ	1	日本（在住）	19		

2024 年度

「富山市ガラス美術館」来館者アンケートについて

この度は富山市ガラス美術館のご利用ありがとうございます。
大変お手数ですが、今後の運営の参考とさせていただくため、
アンケートへのご協力をお願いします。

Q1. アンケートのご回答者様についてご記入ください。

(1) ご来館日 月 日

(2) 年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

(3) お住まいの地域（差し支えなければ都道府県名もお書きください）

☐ 富山市 ☐ 富山県内※富山市を除く（ 市、町、村） ☐ 北海道/東北

☐ 関東 ☐ 北陸※富山県を除く ☐ 甲信越 ☐ 中部/東海 ☐ 近畿/関西

☐ 中国/四国 ☐ 九州/沖縄 ☐ 国外 （お住まいの都道府県名※国外の場合は国名： ）

Q2. 富山市ガラス美術館にお越しになったきっかけは何ですか。（複数回答可、該当するものにチェックをつけた上で、差し支えなければ具体的に媒体名をお書きください。）

☐ 新聞記事（ 新聞）

☐ 新聞広告（ 新聞）

☐ テレビの報道（番組名： ）

☐ テレビのCM（テレビ局名： ）

☐ 広報とやま（富山市発行の広報誌）

☐ 知人からの紹介

☐ 美術館のチラシ、ポスター（施設名： ）

☐ 雑誌記事（雑誌名： ）

本美術館の ☐ ウェブサイト
☐ Instagram
☐ Facebook

本美術館
以外の ☐ ウェブサイト（サイト名： ）
☐ Instagram ☐ X（旧 Twitter）
☐ Facebook

☐ その他（ ）

Q3. 本日を含めてこれまでに何回、本美術館を利用されましたか。

☐ 初めのご来館 ☐ 2回 ☐ 3～4回 ☐ 5回以上

Q4. 本美術館にまた来館したい（誰かに本美術館を勧めたい）と思いますか。またその理由を自由にご記入ください。

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない

☐ どちらかといえばそうは思わない ☐ そう思わない

記入欄

Q5. 本日はどのような交通手段でご来館されましたか。（複数回答可）

☐ 徒歩 ☐ 自家用車 ☐ 観光バス ☐ 市内電車（路面電車） ☐ タクシー ☐ 路線バス

☐ 自転車 ☐ 電車（在来線） ☐ 新幹線・特急 ☐ その他（ ）

Q6. 観覧料についてどう思いますか。

☐ 高い ☐ やや高い ☐ 普通 ☐ やや安い ☐ 安い

アンケートは裏面に続きます

Q7. 各階受付や展示室スタッフの対応についてどう思いますか？またスタッフの対応について、ご意見、感想等がありましたら、自由にご記入ください。

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった
「 」階 （ 受付 ・ 監視 ） ※差し支えない範囲で該当する階をご記入ください。

記入欄

Q8. (1)～(2)の展覧会の内容はいかがでしたか。該当箇所にチェックしてください。
また、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

(1) 企画展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

☐「回顧展:大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ」(2・3階)

(2024/3/9～2024/6/23)

☐「富山ガラス大賞展 2024」(2・3階)

(2024/7/13～2024/10/14)

☐「没後 120 年 エミール・ガレ:憧憬のパリ」(2・3階)

(2024/11/2～2025/1/26)

☐「富山ガラス工房開設 30 周年記念展」(2・3階)

(2025/3/8～2025/6/22)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

(2) 常設展（ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。）

☐「コレクション展」(4階)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

☐「ガラス・アート・ガーデン」(6階)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

Q9. ガラス美術館について、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

その他 カフェ、ショップ、TOYAMA キラリ建物全体のこと等、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

ご協力ありがとうございました。

令和 7 年度

富山市ガラス美術館
事業計画等

令和 7 年度 富山市ガラス美術館事業一覧について

No.	事業名	当初予算額	主な事業の概要
1	管理運営事務費	426,760 千円	ガラス美術館の維持管理等を行う。 【内容】 ・職員人件費 129,830 千円 ・光熱水費 55,747 千円 ・委託料（受付・監視等業務委託 他） 167,556 千円 ・負担金（管理協議会ビル管理委託 他） 44,755 千円 ・その他経費 28,872 千円
2	作品収集保存事業費	22,659 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行う。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 10,000 千円 ・委託料（美術品保管庫燻蒸業務 他） 11,709 千円 ・その他経費 950 千円
3	調査研究事業費	3,164 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行う。 【内訳】 ・旅費（全国美術館会議、国際会議 他） 2,217 千円 ・負担金（全国美術館会議 他） 438 千円 ・その他経費 509 千円
4	展覧会開催事業費	140,000 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行う。 【内訳】 ・「富山ガラス工房開設 30 周年記念展」撤去等経費 12,903 千円 ・「Lives-富山市ガラス美術館所蔵品選」 34,264 千円 ・「めぐりあう今を映す-日本の現代ガラス 1975-2025」 37,021 千円 ・「ガラスの街とやま連携展」 5,000 千円 ・「Noctis-陰翳礼讃-（仮称）」 26,905 千円 ・常設展、グラス・アート・パサージュ、ストリートエリア 19,259 千円 ・次年度展覧会準備 他 4,647 千円 （参考）年間有料観覧者数見込：151,200 人 観覧料見込：91,375 千円）
5	富山ガラス大賞展開催事業費	1,900 千円	「ガラスの街とやま」の更なる定着を図り、その魅力を国内外に発信していくため、現代ガラス作品を中心とした国際公募展「富山ガラス大賞展」を開催する。令和 7 年度は次回開催の準備年として、審査員への就任依頼等を行う。 【内訳】 ・旅費、委託料（特設ウェブサイト保守） 他 1,900 千円
6	教育普及事業費	4,892 千円	富山広域連携中枢都市圏域の小学 4 年生をガラス美術館、図書館本館へ招待する。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした学校招待プログラムを行う。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム活動スタッフ委託費 他） 4,545 千円 ・その他経費 347 千円
7	広報活動事業費 （広報活動事業費）	16,385 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等に関する広報活動を行う。 【内訳】 ・印刷製本費（館内案内パンフレット 他） 2,088 千円 ・広告料（るるぶ、まっぷる 他） 6,344 千円 ・委託料（新聞、テレビ等広告制作費、掲載費 他） 7,418 千円 ・その他経費 535 千円
	広報活動事業費 （開館 10 周年記念事業費）	5,304 千円	ガラス美術館開館 10 周年を記念し、シンポジウムの開催など、一年を通して様々な事業を実施するもの。 ・旅費（シンポジウム登壇者等） 1,000 千円 ・その他（報償金、印刷製本費など） 4,304 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	50 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金（令和 6 年度末時点 4,941,038 円）について、運用益等の積み立てを行う。 【内訳】 ・基金運用益積立金 50 千円
予算額合計		621,114 千円	

1 富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering—つなぐ創造力

展示室1-3
[2・3F]

2025年 3月8日[土] ▶ 6月22日[日]

1994年、「ガラスの街とやま」の一翼を担う施設として開設された富山ガラス工房は、2024年に30周年を迎えました。工房で切磋琢磨し、現在、全国で活躍している作家は100名余。その創造力あふれる若い才能の数々が、富山ガラスの魅力を発信してきました。本展では歴代スタッフの作品と共に、工房30年の軌跡をたどり、未来へと続く針路を展望します。



西中千人《呼織「織」》2023年

4 Noctis—陰翳礼讃—（仮称）

展示室1-3
[2・3F]

2026年 3月7日[土] ▶ 6月21日[日]

19世紀から現代にかけて、ガラスを素材とした作品は、その陰翳の妙によって、豊かな象徴性や幻想性を帯びたものとなりました。中でも、黄昏や夜、影、闇をテーマとした作品は、暗がりへの畏怖や畏敬を見る者に想起させます。そうした作品群は、科学技術の発達、都市の拡大によって陰翳が日常から遠のいて久しい今日、見慣れた世界を新たな感性で捉える心を私たちに開かせてくれるでしょう。



水下定衣《余瀝》2024年、富山ガラス美術館所蔵、撮影：末正真礼生

2 開館10周年記念 Lives—富山ガラス美術館所蔵品選

展示室1-3
[2・3F]

2025年 7月18日[金] ▶ 10月13日[月・祝]

富山ガラス美術館は、今年で開館から10年を迎えます。この10年という期間の中で、ガラスを扱う作家たちや私たちを取り巻く環境は急速な変化を遂げ、「生」について改めて問うような数多くの転機や出来事がありました。本展では命、人生、日常生活、動きなど様々な意味を含む「Lives (lifeの複数形)」をテーマに、当館所蔵作品をご紹介します。



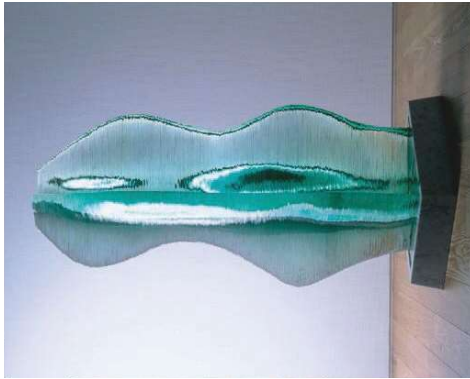
ケイト・ヘイカー《Within Matter #7》2020年、富山ガラス美術館所蔵、撮影：末正真礼生

3 開館10周年記念 めぐりあう今を映す—日本の現代ガラス1975-2025

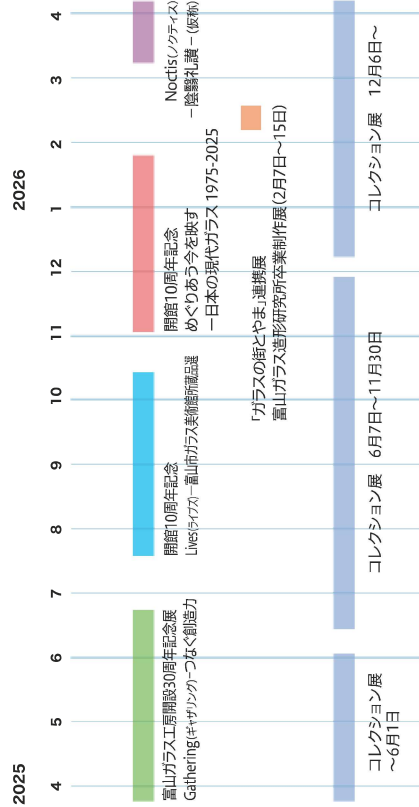
展示室1-3
[2・3F]

2025年 11月1日[土] ▶ 2026年 1月25日[日]

1970年代後半以降、国内では作家自らの手でガラス制作を行う動きが広まります。国際交流が盛んに行われ、教育機関の設立や公募展の開催が相次いだ1980～1990年代を経て、今日に至るまでに多様な表現が生み出されています。本展を日本の現代ガラス50年の歴史と現在を紹介する機会とし、ガラスという素材から展開する表現の魅力と可能性に迫ります。



生田由代子《渾-40》1991年、富山ガラス美術館所蔵、撮影：斎城卓



※記載内容は変更する場合があります。

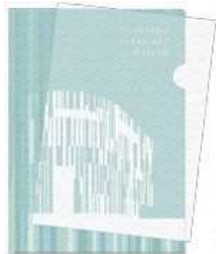
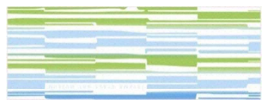
参考資料

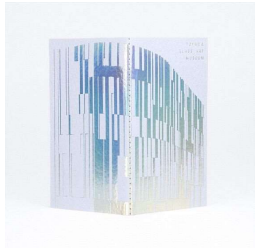
ミュージアムショップ（２階）のオリジナル商品について

参考資料1

株式会社オークコーポレーション

2025/4/10

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
1	クリアファイル TOYAMAキラリ	4532977717392	¥350	¥319	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
2	クリアファイル ストライプ	4532977717354	¥350	¥319	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
3	クリアファイル 隈研吾	4532977717361	¥400	¥364	310×220mm	素材：P P 印刷：オフセット印刷 梱包：O P P 袋入り、裏面 1 c シール貼り	
4	てぬぐい kirakira	4532977717477	¥1,650	¥1,500	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
5	てぬぐい maru	4532977717460	¥1,650	¥1,500	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
6	ポストカード ハワード・ベン・トレ	4532977933143	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c + 1 c プリント PPコーティング	

	商品名	J A N	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
7	ポストカード 藤田 喬平	4532977933150	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c + 1 c プリント PPコーティング	
8	ポストカード TOYAMAキラリ	4532977721337	¥140	¥128	H148×W100mm	4 c + 1 c プリント マットコート	
9	ポストカード TOYAMAキラリ (2Fロビー)	4532977731374	¥140	¥128	H150×W100mm	4 c + 1 c プリント ヴァンヌーボ OPP袋有り 減灯UVインキ+光沢ニス	
10	マシン綴じノートスリム ア オ	4532977730353	¥700	¥637	H161×W83mm	表紙：箔押し 表紙カラー：アオ 本誌：OKフールス紙クリーム OPP袋有り	
11	マシン綴じノートスリム ヒ スイ	4532977730346	¥700	¥637	H161×W84mm	表紙：箔押し 表紙カラー：ヒスイ 本誌：OKフールス紙クリーム OPP袋有り	

C a f e 小馬キラリ店（2階）メニューについて

〔甘味〕

アイスクリーム ¥ 600	
フローズドリンク 各 ¥ 750	
ケーキ 各 ¥ 500	
ケーキ&プチデザート ¥ 700	

〔軽食〕

トースト	・ ・ ・ ¥ 550
ハムサンド	・ ・ ・ ¥ 750
ハムとチーズサンド	・ ・ ・ ¥ 750
チーズサンド	・ ・ ・ ¥ 750
富山のお煎餅	・ ・ ・ ¥ 500

〔ドリンク〕

コーヒー [ホット/アイス]	・ ・ ・ ¥ 600
紅茶[ホット/アイス]	・ ・ ・ ¥ 600
ウイナーコーヒー[ホット/アイス]	・ ・ ・ ¥ 750
富山ブラックサイダー	・ ・ ・ ¥ 600
ジンジャーエール	・ ・ ・ ¥ 600
炭酸水	・ ・ ・ ¥ 600
オレンジジュース	・ ・ ・ ¥ 600
烏龍茶	・ ・ ・ ¥ 600
カフェオレ[アイス]	・ ・ ・ ¥ 700
コーヒーフロート	・ ・ ・ ¥ 750
ソーダフロート	・ ・ ・ ¥ 750

〔アルコール〕

麦酒 [小瓶]	・ ・ ・ ¥ 750
富山地麦酒 [缶]	・ ・ ・ ¥ 800
富山貴醸酒 満寿泉 [グラス]	・ ・ ・ ¥ 700